

## 【算数】

<p>■児童の状況</p>	<p>(低学年)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・長さ、かさなど、単位にかかわる単元は、理解までに時間がかかる。</li><li>・自分の考えを説明することが苦手な児童がいる。</li></ul> <p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・問題場面をテープ図や数直線に整理して表す事が苦手である。</li><li>・問題を熟読せずに取り組み、誤回答する児童もいる。</li></ul> <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・面積を求める公式を正しく使えない児童がいる。</li><li>・割合や百分率についての理解が難しく、具体的な場面を想像できない場合がある。</li></ul>
<p>■指導についての課題</p>	<p>(低学年)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・児童の理解度に応じて、具体物を用いるだけでなく、絵や図なども用いながら、学習を展開していく必要がある。</li></ul> <p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・理解が難しいと感じる児童に対しては、スモールステップで学習を定着させていく必要がある。</li><li>・自分の考えをもつ時間の確保が必要である。</li></ul> <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・領域が多岐に渡り、学習内容をおさえるのに時間を要するため、反復学習をする時間が確保できない。</li></ul>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>(低学年)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・問題文の中で求めるべきものは何かを見付けさせ、線を引かせる。</li><li>・ペア学習を充実させ、児童が友達に説明する機会を増やす。</li></ul> <p>(中学年)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学力向上専門員等を活用し、支援が必要な子にはより個別の指導が出来るようにする。</li><li>・考えを深めるところでは図や数直線を用いて、イメージをもちやすくして理解を促す。</li><li>・少人数指導を行うことで児童一人ひとりの習熟度に合った指導を展開する。</li></ul> <p>(高学年)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・グループでの話し合いやペアワークを活動に取り入れ、友達と意見を交流させ、自分の考えを再構築できるようにする。</li></ul>